科目ナンバリング	U-LAS03 10003 SB48						
授業科目名<英訳>	外国文献研究（文・英）B-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)B-E1			担当者所属職名・氏名	文学研究科　准教授　天野　恭子		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究			使用言語	英語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	火4	配当学年	２回生以上	対象学生	文系向

[授業の概要・目的]

本授業では、Asko Parpola著、The Roots of Hinduism, The Early Aryans and the Indus Civilization（2015年）を読む。本書はインドのヒンドゥー教のルーツを、インダス文明およびそれ以前にインド・アーリア人が辿った地の文化に遡り、文献学、言語学および考古学などの研究成果を用いて多角的な視点から究明する良書である。謎の多い古代の文明をどのように解き明かすのか、ヒンドゥー教そのものに興味がなくとも、非常に刺激に富んだ学びの機会となるだろう。インドの思想や歴史に興味のある学生はもちろん、オリエントやアジアの考古学、歴史言語学、インダス文字の解読などに興味のある学生には特に推奨したい。本書を読み進めながら、学術的な英語論文に親しみ、内容を読み取って議論できる能力を養う。

本授業では、内容を理解しそれを簡単な英語で説明することを中心に進める。学期の最初に参加者各自の担当箇所を決め（担当は一学期の間に一人一回）、授業ではその箇所について簡単なスライドを用意し5-10分ほどの説明を行う。自分の言葉でかみくだいた、簡単な説明でよい。発表について他の参加者から、質問やコメントを募る。自分の言葉で説明し議論を行うことで、著書に書かれた研究への理解が深まることを、参加者皆で体験したい。

[到達目標]

学術的な英語表現に慣れ、英語の学術書を理解する力がつく。英語での簡単なプレゼンと議論に慣れる。インダス文明とヒンドゥー教についての最新の議論を理解する。

[授業計画と内容]

第１回 イントロダクション：教科書とするThe Roots of Hinduismについて、議論の背景と基礎知識を学ぶ。授業の進め方を説明し、担当箇所を決める。
第２回 Proto-Indo-European Homelandsの章の冒頭を、教員がプレゼンの例を示しつつ読む。
第３回～第１４回　参加者の発表（1回につき２～４名）：あらかじめ決められた担当箇所（１～２段落）について、簡単なスライドを準備し内容説明を英語および日本語で行う。質疑を含めて１名１５分ほどの予定。6. Proto-Indo-European Homelands, 7. Early Indo-Iranians on the Eurasian Steppes, 8. The BMAC of Central Asia and the Mitanni of Syria を読む。
第１５回　まとめとフィードバック。
試験は行わない。

[履修要件]

専門の研究への入門であり、学術研究について一定程度の具体的イメージと意欲を持っていることが望まれるので、２回生以上を対象とする。

外国文献研究（文・英）B-E1(2)へ続く↓↓↓

外国文献研究（文・英）B-E1(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点（授業への参加状況、授業内での発言：75%)、発表 (25%) を総合して評価する。なお、一人一回の発表が必須。

[教科書]

Parpola, Asko『The Roots of Hinduism』(Oxford University Press, 2015) ISBN:978-0-19-022690-9**から、授業で読む箇所のコピー（pdf）を配布する。**

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

学期始めに決める担当箇所について、熟読して簡単なスライド（英語・日本語併記）を作成し、自分の言葉で、英語と日本語で簡単に説明できるようにする。
担当箇所は１～２段落で、発表は一人一回でよいが、単位には必須。
毎回の授業で扱う範囲は一通り目を通し、疑問点を質問できるよう準備する。

[その他（オフィスアワー等）]

履修定員を４５名とし、履修人数制限を行うため、履修を希望する者は履修人数制限科目申込期間にKULASISから申し込むこと。

履修人数を超えた場合は４回生を優先とし、それ以外の者は抽選を行い履修を許可する。

[主要授業科目（学部・学科名）]